

令和6年5月22日

保護者の皆様へ

新野中学校長 岡田 栄司

害獣等への対応について

保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育の推進にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

夏に向けて、様々な自然動物等の動きが活発になってまいります。本校生徒が害獣等の被害に遭わないよう、生徒たちには下記の通り指導しております。ご家庭でも合わせて、お子様へのご指導と注意喚起をお願いいたします。

1. まむし

- ・活動し始める季節で、町内でも時折見かけるようになりました。十分注意しましょう。
- ・茂みや落ち葉の多い場所や、石垣などの近くには近づかないでください。
- ・ヘビを見かけたら近づかず、距離をとって静かに逃げましょう。音を出すなどしてヘビを刺激し、驚かせるのは危険です。
- ・咬まれたらまずは、安静にしてください。パニックになって走ったりすると毒が回りやすくなるためより危険です。救急車を呼ぶなど、一刻も早く医師の診断を受けてください。

※令和6年度乾燥まむしウマ抗毒素(まむし血清)の配置期間及び配置先については、裏面のとおりです。期間: 令和6年5月1日から同年10月31日まで
(配置期間以外は、原則として各保健所で保管しています。)

2. 蜂

- ・整髪料や香水をつけないこと。また蜂の巣に近づかないでください。
- ・遭遇したら、ゆっくり遠ざかります。手で払わないでください。

※過去に一度刺されていると「アナフィラキシーショック」を起こす可能性があり、特に注意が必要です。

3. サル、イノシシ

- ・サルに不用意に近づかないでください。近づくと襲われることがあります。
- ・野生の動物に絶対にエサを与えたり、食べ物を見せたりしないでください。

※人がエサをくれることを覚えると、そこに居つくようになり、農作物を荒らしたり、人家に侵入するなど、被害が地域全体に拡大する原因となります。

- ・サルに威嚇された場合は、目をそらして後ずさりし、その場を離れてください。

目を合わせるとサルが威嚇されたと思い、襲われる場合があります。

- ・サルから離れる際には、決して走って逃げないでください。
- ・イノシシは、人を襲うことはめったにありませんが、「至近距離で突然出くわす」、「ケガをしている」、「犬に追いかけている」、「晩秋から冬にかけての発情期などで興奮状態にある」等の場合は、まれに襲って来ることがあります。
- ・イノシシに遭遇した場合には、刺激を与えないよう、近づかず、大きな声を出さず、目を合わせずに、背中を向けられないよう後ずさりながらゆっくりとその場を離れてください。
- ・特に、ウリ坊と呼ばれる子どものイノシシがいた場合は、近くに母親がいる可能性が高いため、絶対に近づかないようにしてください。

4. 令和6年度追加事項(鹿・ムカデ)

- ・シカ(鹿)が学校近辺で発見されています。野生のシカは、基本的に非常に臆病で、人と出会ってしまった時はどのような行動とるか予想できません。野生のシカと出会った場合はそれ以上近づかないようにし、静かにその場を立ち去るようにしましょう。
- ・ムカデの被害も確認されています。ムカデは毒があり、噛まれると激しい痛みを伴い数日続くことがあります。靴や手袋の中に侵入していて咬まれることがあるので注意しましょう。咬まれた場合は流水で洗い流し、念のため病院へ行きましょう。

※上記は、阿南市や県のホームページによる情報等を元にしていますが、野生の動物ゆえ、予期せぬ動きをすることが予想されます。出逢った時は刺激せず、慎重に行動してください。また、必ず学校の先生に情報を伝えてください。